



第109号

令和6年(2024年)

11月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

第3回定例会 令和5年度古賀市決算	2～5p
市長質疑・決算討論	6p
一部事務組合・請願・陳情・意見書	7p
主な審議・補正予算・賛否一覧	8～10p
ここが聞きたい!一般質問	11～16p
常任委員会報告	17～19p



古賀市議会



写真：学校教育課によりドローンで撮影された古賀西小学校の「浜の運動会」。

令和5年度の決算について、決算審査特別委員会（9月6日～24日の間の6日間）で審査を行いました。

令和5年度 決算総額

（一般会計・特別会計の合計）

歳入 **404億3,364万円**

歳出 **391億1,345万円**

実質収支 **12億213万円の黒字**

教育費

学校教育・社会教育など

28億5,785万円

（増減率4.0%増）

主な増：学校管理費・生涯学習センター施設費
主な減：体育施設費



総務費

公共交通・財政管理・企画・選挙など

54億1,901万円

（増減率13.6%減）

主な増：市議会議員選挙費・統計調査費
主な減：財政管理費・財産管理費

衛生費

新型コロナ対策・健康づくり・健診など

34億1,265万円

（増減率1.9%増）

主な増：し尿処理費
主な減：予防費



民生費

社会福祉・子育て・保育所・高齢者など

112億5,784万円

（増減率4.6%増）

主な増：障がい者福祉費・子育て支援費・生活保護事業費

災害復旧費

被災箇所の復旧など

1,540万円

（増減率565.9%増）

主な増：農林水産施設災害復旧費・
公共土木施設災害復旧費



消防費

消防・災害対策など

7億6,487万円

（増減率0.0%）

主な増：団員退職報償金等
主な減：非常備消防費



特別会計

国民健康保険

58億6,907万円

（増減率1.9%減）

後期高齢者医療

9億5,445万円

（増減率6.2%増）

介護保険

42億2,285万円

（増減率2.9%増）

公営企業会計



水道事業

収益的支出 **10億2,245万円**

資本的支出 **5億5,875万円**

下水道事業

収益的支出 **21億1,864万円**

資本的支出 **12億4,559万円**

※千円以下四捨五入、増減率は前年度との比較。※各表中の構成比については、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

一般会計

歳入 **292億9,508万円** (前年度より4億2,780万円の減)

歳出 **280億6,708万円** (前年度より6,577万円の減)

実質収支11億994万円の黒字

労働費

勤労者等交流・就労支援など

831万円

(増減率0.5% 減)

主な減：職業紹介事業費



商工費

商工業・観光など

1億8,285万円

(増減率49.3% 減)

主な減：経営支援事業費



公債費

市債の償還金など

14億9,858万円 (増減率4.1% 増)



農林水産業費

農業・林業など

6億1,024万円

(増減率34.2% 増)

主な増：農業者経営安定支援事業費・
防災力強化事業費・林道施設
管理事業費



土木費

道路・公演管理・都市計画など

17億5,507万円

(増減率1.7% 増)

主な増：河川総務費・公園費・職員人件費
主な減：道路新設改良費・市営住宅管
理事業費



決算審査特別委員会報告

委員長 松島 岩太

令和5年度の決算審査に際し、市長、副市長、教育長をはじめ関係部課長等の出席を求め、決算概要の説明と、資料等を参考に、審査・討論採決を行いました。

一般会計の審査概要としては、過去最大規模の決算認定であり、市政運営の現状を鑑みつつ、更なる充実した取り組みを求める意見が多数上がっております。

具体的な施策においては、恒久平和希求事業の推進、路線バス運行やA Iオンデマンドバス利用促進、健康経営の取り組み強化、インキュベーション促進事業の費用対効果、ふるさと納税、ソーシャルワーカー実態把握、第2子以降の保育料無償化の検討、農業者経営安定支援、観光客誘致促進、古賀駅東口周辺の道路整備、教職員のメンタルヘルス向上に向けた取り組み、不登校児童生徒に対する医療費の自己負担問題、食育から見る給食の残食量等、広範多岐にわたる意見、提言があり、最少の経費で最大の効果が得られるよう、執行部に対して更なる努力、工夫を求めています。

総務費

AIオンデマンドバス運行委託
3602万円

【質疑】利用者数、収入は。

【回答】利用者数53
66人。
収入は122
万5391円。



【質疑】路線バスの赤字補填を減らすための対策は。

【回答】AIオンデマンドバスと西鉄バスが重複する区域において、ルート変更を行い、翌年度に向け路線バスの運行キロ数を減ずる検討を行った。

路線バス運行補助金 6218万円

【質疑】利用者数、収入は。

【回答】利用者数23万9546人。
収入は3469万8609円。

【質疑】減額になった理由は。

【回答】利用者が増加したこと、および運賃値上げにより運賃収入が増加したことによるもの。

【質疑】70歳おでかけバスについては。

【回答】利用登録者数は累計で2853人。

インキュベーション促進委託

2371万円

【質疑】成果と今後の課題は。

【回答】移住・定住、利用者同士の連携・交流を促進し、新たなイノベーション創出の基盤を築ききつかけとなっている。
また、新たなビジネス機会を創出し地域経済の活性化につながっており、本市の魅力発信・シタイプロモーションに貢献した。今後は、継続・発展、新たな民間活力の導入などを視野に入れつつ、地権者および運営事業者との協議を進めていく。

民生費

産前・産後ヘルパー委託 29万円

【質疑】利用者数、利用回数実績は。

【回答】利用者数は16人。
利用回数実績は101回。

【質疑】利用促進に向けた対策は。

【回答】産前・産後で心身に不調がある人や、周囲からのサポートが少ない人などに対し、個別に案内している。



子ども医療扶助

2億1278万円

【質疑】子ども医療費無償化拡大での額は。

【回答】本市が負担した自己負担相当額は、4カ月分で約550万円。



【質疑】過剰受診となっていないか。

【回答】過剰受診の判断は難しいが、子どもたちが安心して医療を受診できる環境を整備することができた。

保育士事業

保育補助者雇上強化事業補助金

1315万円

保育士宿舍借り上げ支援事業補助金
246万円

【質疑】どのような効果があったか。

【回答】雇い上げるための費用、宿舍を借り上げるための費用の一部を補助することにより、保育士の負担軽減や働きやすい環境の整備に寄与した。



教 育 費

教育費全般 28億5784万円

質疑
児童・生徒数と今後の推計は。

回答
小学校が3516人、中学校が1736人(令和5年5月1日現在)。小学校は令和6年度を境に減少、中学校は令和8年度まで増加傾向となる。

質疑
学校施設の活用は。

回答
学習環境の確保。教室に余裕が出た場合は、地域開放室などの活用を検討している。

給食センター管理運営事業費 2億2520万円

質疑
給食の残食量とその後は。

回答
月平均小学校約2600kg、中学校約1400kg。肥料として、市内小・中学校での花壇や菜園、給食の地産地消にご協力いただいている地元農家の野菜栽培などで利用されている。



質疑
調理場における暑さ対策や課題は。

回答
エアコンや水分補給のための場所を整備しているが、高温多湿の環境の改善が難しいことが課題。

エアコンや水分補給のための場所を整備しているが、高温多湿の環境の改善が難しいことが課題。



衛 生 費

地球温暖化防止対策推進事業費 1173万円

質疑
具体的な取り組みと今後の課題は。

回答
「うちエコ診断会」では、家庭から排出される温室効果ガス削減を促進。また、脱炭素およびコスト削減意識の向上を図ることができた。太陽光発電の導入可能性は見込めるものの、財源の確保、地域の合意形成等の課題がある。

商 工 費

特産品等PR委託 462万円

質疑
成果と課題は。

回答
積極的に市内観光情報を収集し、情報発信を行った。収集した情報は、市内外のイベント等で生かすことができた。Instagramはフォロワー数が847人に増加したが十分な成果とは言えず、さらなる情報発信の強化、観光振興を図っていく必要がある。

農林水産業費

農業振興費 48万円
就農アドバイザー謝礼

質疑
就農相談支援と就農に至った件数は。

回答
認定新規就農者への生産技術指導等延べ133件、新規就農希望者への相談支援12件を行い、うち就農に至った件数は1件。

土 木 費

橋梁点検委託 2455万円

質疑
点検した場所と結果は。

回答
点検した場所は4カ所。花見千鳥跨線橋、ししづ自由通路は支障が生じていない状態。古賀駅自由通路、鹿部跨線橋は予防保全段階(支障は生じていないが、予防的保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態)を確認。

水道事業費

受水費 3億9345万円

質疑
福岡・北九州それぞれの受水量と単価は。

回答
福岡地区水道企業団から299万8750³m³受水、単価115・975円。
北九州市水道用水供給事業から62万2111³m³受水、単価95・24円。



市長質疑

奴間 健司

子ども医療扶助 2億1280万円 就学前までの無償化拡大の影響に

問 無償化拡大と同時に保健予防事業の徹底を

答 重要性は理解できる。効果検証を行う

議員 2023年10月以降子ども医療費を就学前まで無償化。その影響は延6788件、市負担は約550万円増と確認した。(10月診療から4カ月分)その結果をどう評価しているか。

児健診の追跡、小・中学生の血液検査による生活習慣病予防、自炊力と食生活習慣に取り組むべき。

市長 予防の重要性は理解できる。議員のご意見として受け止める。

市長 平成31年度と令和5年度の4月分を小学生と3歳〜6歳までを比較すると、無償化によって扶助費が大きく増加したとは言えない。困っている人の受診控え回避には寄与できたと考える。

議員 1960年代に岩手県旧沢内村が保健予防を徹底し国に先んじて老人医療、乳幼児医療無償化を施行した。全国に広がったが保健予防を徹底せず破綻した。この教訓を生かすべきだ。

議員 医療機関の声を聞いているか。

市長 子どもについて過剰受診はあまり想像できないが、財政への影響は見ていく必要がある。しっかりと継続するがご提起を参考に効果検証もやっていたい。

市長 柏屋医師会と協議の場で状況を聴取したい。過度に負担が生じる事態は望ましくない。

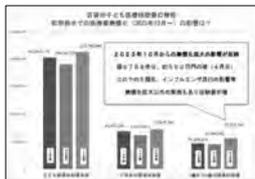
議員 2024年度から18歳まで拡大 推移の把握を

議員 保護者の声を聞いているか。

市長 前向きな声をいただいているが、今後のアンケート等にその設問も盛り込んでいくけたらと考える。

市長 無償化拡大と同時に、乳幼

議員 無償化拡大と同時に、乳幼



2024年度から18歳まで拡大 推移の把握を

決算討論

一般会計

賛成

奴間 健司

【指摘】▼恒久平和希求事業拡充 ▼公共交通の利用者増、収支率改善 ▼葉王寺インキュベーション自走対策 ▼第2子以降の保育料無償化検討加速 ▼子ども医療費無償化とセットで小・中学生血液検査導入検討加速 ▼新清掃工場整備とセットでバイオマス化検討 ▼中学校体育館の避難場所活用 ▼重点事業マネジメントシートの作成・公表

賛成

森 真希

公共交通維持確保事業では、地域住民が主体的に公共交通を検討する地域協議会の立ち上げが示されている。利用促進、事業の維持向上が図られるよう求める。学校給食費では給食残食量は月4トン程度で、パン・牛乳は含まれておらず廃棄の量も把握されていない。栄養摂取量の不足やフードロス対策、食育という面からも検討が必要。

国民健康保険

賛成

奴間 健司

【指摘】▼被保険者減少、医療費上昇のもと持続可能な国保体制を検討 ▼糖尿病、高脂血症など健康課題解決に向け子ども特定健診など思い切った対策 ▼保健・健康づくり事業実績報告書作成による一体的把握



一部事務組合議会報告

議長 渡孝二

古賀高等学校組合議会

令和6年8月8日第2回定例会開催。

令和6年度補正予算(第2号)が上程され、歳入歳出それぞれ230万8000円を計上、歳出の主なものとして、非常用放送設備の補修工事費129万8000円などが計上され、賛成全員をもって可決。

また、令和5年度決算の認定について審議、歳入総額は約8億3100万円、歳入の主なものは分担金約4億2000万円や授業料約6900万円。歳出総額は約8億2500万円で、歳出の主なものは教育職員人件費約3億9200万円や高等学校管理費約4100万円等。賛成全員で認定。

令和6年9月27日第2回臨時会開催。

古賀高等学校組合教育委員会委員に小川隆弘氏を任命することに賛成全員で同意。

北筑昇華苑組合議会

令和6年8月21日第2回定例会開催。

令和5年度決算の認定について審議、歳入総額は約4億2000万円、歳入の主なものは葬祭場使用料約2億5800万円や有価物売却益約7400万円。歳出総額は約3億4100万円で、歳出の主なものは職員人件費約1億2500万円や火葬炉補修工事約1000万円等。賛成全員で認定。

その他、北筑昇華苑組合職員定数に関する条例の一部改正などが上程され、賛成全員をもって可決。



請願

6年請願1

「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・教育予算の拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願

1. 少人数学級を推進し、中学校の35人以下学級を早急に実現すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに教育予算の拡充を図ること。

国へ意見書を提出することを求める請願を賛成全員で採択しました。

請願者

菅正範

紹介議員

箕原隆代
紙谷由香
大賀文字
秋吉智紀

陳情

6年陳情2

母が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情

陳情者

張一文

意見書

「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・教育予算の拡充」を求める意見書

賛成全員で国および政府に意見書を提出することに決まりました。

提出者 文教厚生委員会

委員長 古賀誠視

学校給食の無償化制度の構築を求める意見書

賛成少数で否決されました。

提出者

今井公一

■おわびと訂正

市議会たより第108号について誤りがありましたので、訂正の上おわびいたします。

3ページ議会報告会について

【誤】関わらず → 【正】かわらず

7ページ政務活動費について

【誤】「開放新聞」 → 【正】「解放新聞」

49号
議案

個人番号利用に関する条例の一部改正

国の児童手当法の改正により、児童手当の所得制限が撤廃されることに伴い、現行の条例から「特例給付」の文言を削除。

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成多数
可決

主な
審議

第3回
定例会
(8月28日～9月26日)

50号
議案

古賀市国民健康保険条例の一部改正

12月から被保険者証（保険証）が発行されなくなることに伴い、条例内の「被保険者証の返還に応じない」部分を削除。

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成多数
可決

51号
議案

古賀市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正

医療費の支給に関する規定により受給資格の認定、受給資格者に対して、ひとり親家庭等医療証を交付。

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

64号
議案

財産の取得について

市職員用情報系端末の入れ替えに伴い、ノート型端末を指名競争入札により取得。

付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

65号
議案

財産の取得について

古賀市消防団第5分団の消防ポンプ車1台を指名競争入札により取得。



付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

66号
議案

後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

12月から被保険者証が発行されなくなることに伴い、福岡県後期高齢者医療広域連合規約の「被保険者証」を削除。

付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成多数
可決

71号
議案

72号
議案

古賀市教育委員会委員の任命

松下 知弘氏
狩浦 瞳氏

主な
審議

会派の変更について

令和6年8月20日、切磋琢磨が新たに会派の結成届けを提出しました。
この結果、古賀市議会の会派は以下のようになりました。

- ・ 公明党（こうめいとう）
- ・ 山海会（さんみかい）
- ・ 切磋琢磨（せつさたくま）
- ・ 自由クラブ（じゆうくらぶ）
- ・ 市民クラブ（しみんくらぶ）
- ・ 友和（ゆうわ）
- ・ 会派に属さない議員
- ◎井之上 豊、平木 尚子
- ◎大賀 文子、森 真希
- ◎村松 謙二、秋吉 智紀
- ◎松島 岩太、渡 孝二、福崎 トビオ、中野 敦史、伊藤 康義、秋山 隆哉
- ◎古賀 誠視、結城 弘明、紙谷 由香
- ◎森本 義征、奴間 健司
- 今井 公一、大隈 慶太郎

(令和6年10月11日現在・会派の◎は代表者)

高齢者対象の新型コロナワクチン接種、公共施設等の使用料を検討するワークショップ開催、小・中学校のネットワーク環境調査等

一般会計補正予算 **9億9,669万円**

補正予算
(9月10日)

第3回
定例会

高齢者新型コロナワクチン接種 委託料追加 1億1,429万6千円

令和6年10月から接種開始、令和7年3月末に接種終了予定。市への申請は不要ですが、接種券の発送はありません。予約方法は医療機関により異なります。広報こが、ホームページ等で周知。

公共施設等使用料設定基準 検討ワークショップ 22万7千円

市民(4人)、有識者(2人)、施設利用団体の代表者(2人)など、さまざまな立場の意見を聞き、公平かつ合理的な公共施設等使用料設定の基準につなげるもの。令和6年10月頃に参加者を募集。11月～令和7年3月の期間にワークショップ(4回)を開催。

小・中学校ネットワーク アセスメント調査委託 295万9千円

GIGAスクール構想推進のため、通信速度の測定、機器の設定調査、電波干渉の有無、通信契約等の調査を行い、改善提案を受け、ネットワーク整備計画を策定し課題の改善につなげる。令和6年12月～令和7年2月の期間に調査・結果報告。

公有財産測量等委託 654万6千円

旧文化財収蔵庫敷地(新久保一丁目12番20号)の活用の検討を速やかに進めるにあたり、現地調査や測量等により活用可能な面積を確定させるため。令和6年11月から現地調査・測量を開始し、令和7年3月に面積を確定。

本会議
賛成全員
可決

令和6年度 特別会計・公営企業会計補正予算

国民健康保険

4,858万7千円を追加
国民健康保険財政調整基金積立金
職員人件費の増

後期高齢者医療

9万9千円を追加
通信運搬費
職員人件費の増

介護保険

1,449万9千円を追加
介護保険給付費準備基金積立金
国・県還付金および還付加算金

水道事業

(収益的支出) **452万7千円の減**
(資本的支出) **53万9千円の増**

下水道事業

(収益的支出) **1,990万5千円の増**
(資本的支出) **145万5千円の減**

本会議
賛成全員
可決

号数	議案名	結果	今井公一	結城弘明	中野敦史	古賀誠規	森真希	秋吉智紀	村松謙二	福岡トビオ	平木尚子	松島岩太	伊藤康義	大賀文子	大隈慶太郎	奴間健司	秋山隆哉	井之上豊	紙谷由香	森本義征	渡孝二	
報告6	令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告7	債権の放棄	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告8	債権の放棄	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	古賀市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	古賀市国民健康保険条例の一部改正	可決	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
51	古賀市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	令和6年度古賀市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	令和6年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	令和6年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	令和6年度古賀市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	令和6年度古賀市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	令和6年度古賀市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	令和5年度古賀市一般会計決算の認定	認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	令和5年度古賀市国民健康保険特別会計決算の認定	認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	令和5年度古賀市後期高齢者医療特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	令和5年度古賀市介護保険特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	令和5年度古賀市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	令和5年度古賀市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
67	市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	字の区域の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	古賀市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	古賀市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	学校給食の無償化制度の構築を求める意見書	否決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・教育予算の拡充」を国の関係機関に求める意見書の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問2	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問3	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6年請願1	「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・教育予算の拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

賛否一覧

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順 〇は議員提出議案

ここが聞きたい！

一般

質問

問

①古賀市の防災の備えは ②古賀市の賑わい創出の対策は	井之上 豊
①子どもたちを育む環境の改善を ②市民の声に応える公共交通の実現を	森 真希
①市役所窓口の受付時間はどう変わる ②古賀市の公共交通の未来は	古賀 誠視
シェアリングエコノミーの推進について	紙谷 由香
①学校給食は子どもたちのために ②古賀市をユニバーサルデザインのまちに	大賀 文子
①共創まちづくりのこれからを問う ②公有財産の積極的な利活用を	秋吉 智紀
市内小中学校の夏休み期間の適正化	大隈 慶太郎
①保険証廃止で市民のいのち・医療は守られるのか ②まちづくり基本条例を具現化し西鉄宮地岳線跡地を市民の宝に	今井 公一
子どもの自炊力 100%をめざして～現状認識と対策を探る～	奴間 健司
①産後ドゥーラを導入しては ②小中学校にラーケーションの制度を取り入れては ③帯状疱疹ワクチンの公費助成について	平木 尚子
①人口減少時代の政策づくりについて ②公共交通に係る市の財政負担額について	村松 謙二

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。一人30分（答弁を含みます）の持ち時間で質問します。掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。掲載は通告届出順です。

中継・録画は、インターネットで視聴できます



井之上 豊
(公明党)

古賀市の防災の備え・賑わい創出は

答 今後も防災対策に取り組んでいく

議員 「災害制御御可能感」が市民の心にある現在、自助、共助の呼びかけはどのように進めていくのか。

市長 今後も市民が公助だけに頼らず、自らの命は自らが守るとい

議員 う自助の意識や、地域社会がお互いを守る共助の意識を高められるよう取り組んでいく。

市長 公助としての備えはどのように進めていくのか。

議員 古賀市備蓄計画に基づき備蓄を行っている。空調設備工事の計画、指定緊急避難場所の協定締結、機材購入費補助、避難行動要支援者の個別計画の作成支援、防災マップの全戸配布など取り組んでいる。

市長 防災士については、どう進めていくのか。

議員 連絡先などの情報提供を呼び掛けているが、一部の人にとどまり完全ではなく、今後、ネットワークの構築が大前提。その上

市長 「市民の防災意識向上などにその力を発揮できる環境を整えてほしい。万一災害が発生したら、専門的知見をどう活用していくか整理する。

議員 賑わい創出について、まちの駅をどう思うか。

市長 まちの駅は、一般の商店や飲食店が登録し、街歩きの途中で休憩場所や地域の情報などを提供する施設であると認識している。街歩きの途中で立ち寄れるという発想で人や情報をつなぐ役割を果たしていると思う。

市長 賑わい創出について、まちの駅をどう思うか。

議員 まちの駅は、一般の商店や飲食店が登録し、街歩きの途中で休憩場所や地域の情報などを提供する施設であると認識している。街歩きの途中で立ち寄れるという発想で人や情報をつなぐ役割を果たしていると思う。

まちの駅の様子





森 真希
(山海会)

子どもたちを育む環境改善について

答 充実したものとなるよう努める

議員 令和5年度の古賀市の小・中学校の不登校児童生徒は231人。不登校児童生徒を受入れて

いる保健室やステップルーム、児童館などの利用はどのような状況か。

教育部長 令和5年度12月時点で小・中学校合わせて保健室登校32人

ステップルーム52人、児童センター5人となっている。

議員 学習支援センターは3月の学期末で終了し、新学期に再度申請

しなければならぬ、学期末で打ち切らず継続できないのか。

教育部長 検討し改善できるところは改善したい。

議員 多胎妊娠、多胎児特有の悩みや不安に寄り添い経験者がアドバ

イス、妊娠、出産後相談、多胎母親学習などを行う多胎児ピアサポートの導入を検討していただきたい。

市長 福岡県にも伝え、古賀市として

も導入について検討したい。

市内公共交通の利用促進

議員 地域住民の理解や声はどのように把握されているか。また青柳

地区のほか、谷山・小山田地区からも意見を聞いている。地域協議会立ち上げはどのようにお考えか。

総務部長 小竹地区は充分協議し現状

の形になった。地域の実情やニーズに合った公共交通を進めたい。そのようなお話があれば是非積極的に関わりたい。

多胎児ピアサポート



古賀 誠視
(市民クラブ)

市役所窓口の受付時間短縮の考えは

答 現行8時半から17時を9時から16時に変更

議員 市役所窓口の受付時間短縮の目的と期待される効果は何か。

市長 窓口業務のDX化を含む政策立案や、創造性のある仕事に取り

組む時間を確保し、時間外勤務を前提とした労働形態を解消することで、経費削減や健康経営の実現、働き方改革として働きやすい労働環境の構築で、優秀な人材の確保につなげる。

議員 窓口受付時間短縮の開始時期と対象となる施設はどこか。

市長 令和7年1月6日から窓口受付

時間の短縮を開始する方針で、外線電話の短縮は、新年度から実施する予定。短縮を検討している窓口は市役所第1、第2庁舎、上下水道庁舎、サンコスモ古賀の3施設を検討。

議員 小竹・コスモス館と新宮中央駅

間のバスの進捗状況は。10月からコスモス館と小竹口までの区間の運行を開始。小竹区

内に5カ所・新宮側も停留所を

設け、新宮中央駅への乗り入れは、年明けからの運行を予定。

議員 AIオンデマンドバスの利便性を高めるためミーティングポイントの増設や見直しの考えは。

総務部長 利便性が高くニーズがある場所や、利用実績を踏まえて変更していくことは可能。高齢者の運転免許証返納者への支援を進めるべきだ。

市長 免許の返納を検討している高齢者に、免許証を返納しやすい環境を進めていく。

時間の短縮は市民の理解と周知が大前提





紙谷 由香
(市民クラブ)

シェアリングエコノミーのこれから

答 地域課題解決に向けて連携

議員 古賀市で取り組んでいる主なシェアリングエコノミーは、

市長 小・中学校の水泳授業民間委託をはじめ、「快生館」や「るるる」¹、リーパスプラザ²がの学習室、古賀北中学校の地域開放室、のるーと古賀、制服のりユース、フードドライブ³など。

議員 シェアリングエコノミーの評価はどう考えているのか。

市長 場所や空間のシェアにより人と人の関係性の構築可能性が高まっていると考える。そうしたところから課題解決のためのアイデアや、取り組み、行動が生まれる。そうした可能性も高まると考えている。

議員 今後、市役所の駐車場のシェアリングはどのように考えているのか。

市長 現在、イベントや分別収集の時にシェアしているが、使われない時間が非常に多いという認

シェア出来るか市役所駐車場



識を私自身も持っていて、非常にもっとたいないと思う。しっかりと精査をした上で庁舎の駐車場の有効活用、シェアリングエコノミーの観点も含めて考えていきたいと思う。

議員 市の公用車のシェアについてはどう考えているのか。

市長 公用車のシェアの事例は私も認識しているが、本市の公用車は、ほぼリースなので、リース車両のシェアは少し難しいと考える。



大賀 文子
(山海会)

学校給食は子どもたちのために

答 給食費無償化は国の判断待ち

議員 学校給食の食育の方針は。食に関する知識と選択する力を習得し、健全な食生活ができる人間を育てる。

市長 市は、給食食器を、磁器食器からPEEN樹脂食器に検討しているが、食育にふさわしい学校給食食器とは。

議員 安全性、衛生面に不安が無く、保温性、耐久性などがあること。磁器食器は、古賀市で26年間使用し安全性が実証されている。化学物質の塊であるPEEN樹脂食器は、安全性と環境面から使用するべきではない。文科省は、給食費を市に支払う、公会計化を奨励している。給食費を公会計化しては。国の方策を注視しつつ、公会計化を検討している。

市長 公会計になると、市には業務や人件費等の負担が増えるが、公会計化は実行すべき立場にあ

議員 学校給食の食育の方針は。食に関する知識と選択する力を習得し、健全な食生活ができる人間を育てる。

市長 市は、給食食器を、磁器食器からPEEN樹脂食器に検討しているが、食育にふさわしい学校給食食器とは。

議員 安全性、衛生面に不安が無く、保温性、耐久性などがあること。磁器食器は、古賀市で26年間使用し安全性が実証されている。化学物質の塊であるPEEN樹脂食器は、安全性と環境面から使用するべきではない。文科省は、給食費を市に支払う、公会計化を奨励している。給食費を公会計化しては。国の方策を注視しつつ、公会計化を検討している。

市長 公会計になると、市には業務や人件費等の負担が増えるが、公会計化は実行すべき立場にあ

議員 給食費無償化のために古賀市ができることは。

市長 全国市長会をとおして、無償化の検討を国に提言している。

議員 給食費を無償化する自治体が増えていくが、財政負担が重く継続が厳しい実態がある。無償化実現のため、県や国へさらなる後押しを。

※その他の質問

古賀市をユニバーサルデザインのまちに

子どもの食の権利を守る取り組みを！





秋吉 智紀
(切磋琢磨)

古賀市に暮らす人々の営みを最大化せよ

答 新たな価値を創出していく

議員 「快生館」や「るるるる」に関

わっている業者に対して、個別批判したいわけではない。民間事業者としては、投ずる時間を減らして、利益を最大化することとは当たり前。だからこそ、発注する行政側が、しっかりと工夫しなければならぬ。事業の目的は何か。

総務部長 「快生館」は移住を促し、新規ビジネスを創出し、地域経済

を活性化させること。

建設産業部長 「るるるる」は古賀駅の

西口を活性化させ、まちづくりを行なっていくこと。

議員 「快生館」に関して、個人が所有

している物件に、9400万円のリフォームをしているが、なぜ行政がこの事業を行っているのか。民間資金等活用(のちPFI)を検討しなかったのか。

経営戦略課長 コロナ禍で、早急に動か

古賀市民に恩恵がある制度設計を



主導で行っている。PFIは検討しなかった。

議員 「るるるる」に関して、市の公

式SNSで過大に宣伝されているが、運営を委託されている会の経営者と「るるるる」の経営者が同じである。問題ではないか。

経営戦略課長 市の委託事業であり、市

の情報発信ツールを使っても問題ない。

※その他の質問

公有財産の積極的な活用を



大隈 慶太郎

市内小・中学校の夏休み期間の適正化

答 改善を検討する余地はある

議員 夏休み25日間による不具合や課題は。

題は。

教育長 中体連の大会が平日開催され

ること。先生方も同期間に研修会や会議が入ってくる。

議員 熱中症を心配されて迎えに来る

保護者、大会出場のため授業を受けられないなどの実態がある。

どのような改善策があるか。

教育長 改善していく検討の余地がある。

議員 改善の検討ではなく改善策の有

無を尋ねている。

子どもたちは「クラブチームの

合宿に参加できない」、塾の経営者は「夏期講習のためお盆も

開講した」などの実態がある。

今後は、夏休みが短いことにつ

いて丁寧の説明するのではなく、市民の意見を丁寧に聞く

ことが必要。意見交換会や意見書

等の申し出があった場合は、快

諾するか。

教育長 さまざまな御意見をいただけ

市内小学校 迎いの車列



8月21日 12:22
気温: 35度

るということは大事なこと。

議員 小学校にお孫さんを迎えに来て

いた、女性の言葉です。「何かあったら、責任をとるとよく言いますが、何かあったら、取り返しがつかないですよ。」重たい言葉でした。



今井 公一

市長公約は「地元の皆さんと検討します」

答 西鉄跡地利用は市の権限で決定する

議員 西鉄宮地岳線跡地利用計画で竹

下元市長の利用計画は、市民や議会の要望を取り入れたものだったが、中村前市長が市民や議会の意見を求めず庁内のみで道路建設計画に変更したことが情報開示請求でわかった。田辺市長もそれを踏襲実行している疑念がある。市長公約を実現すべき。

市長 土地利用については市の裁量で用途を決定できる。道路整備は市長の判断。今後もこのやり方で進める。

議員 情報共有、市民参画がまちづくりに基本条例の理念。市民参画で計画再構築、住民の過半数の同意を得て進めるべきだ。

建設産業部長 そもそも市の権限で公共の用（西鉄宮地岳線跡地）に供する用途を決定することができ

るが、市長が対話集会などのプロセスをあえてとっている。跡地は市民にとって、貴重な財

議員

産。市と区が合意した経過文書が不存在。経過はクリア、オープンにし、最終的に確認書や合意書あるいは協定書など、将来にわたって残る記録を残していくべきだ。

建設産業部長 跡地は、歩道と車両を分離した安全な道路で、整備することで、地域課題の解決に向けて整備を進めていきたいというのが市の考え。

議員 都市計画課、まちづくり推進課等含めいろいろな意見を聞いて計画を進めるべき。

田辺市長、立候補公約と9月議会答弁

「対話」と「交流」を起点に、住民の皆様の声を市政に反映させます。そして、住民の皆様にとって「政治が手元にある」と実感できる市政を実現します。

現場主義に徹します
西鉄宮地岳線跡地は、地元の「声」を尊重します。安全・安心の確保、憩いの空間形成なども含めた活用方法について、住民の皆さんとともに検討します。

令和6年9月議会市長答弁「土地利用は市の裁量で用途を決定できる、道路整備は市長の判断。今後もこのやり方ですすめる」←住民とともに検討はどこに？



叔間 健司
(友和)

プロの料理人を講師に地域・学校で自炊塾を

答 そういう機会が多くあることはよいこと

議員 食育基本法は、食の知識と選択する力を習得し、健全な食生活を

実践できる人間を育てるとうたっている。自炊力の意義と思う。

市長 とても大事な理念意義と思う。

議員 佐伯市の「巣立つ君たちへの自炊塾」は参考になる。古賀市でも条件はあると思う。

市長 ささまざまな取り組みを包括的に見て自炊力を考える契機となった。

本当に意義あるやり取りだと思う。古賀市内には飲食店がたくさんある。そのプロの料理人を講師に

サンコスモやリーパスプラザで自炊塾を行ってはどうか。

市長 公の関わりは置いておいて、そういう機会が多くあることはとても

良いことだと思う。プロの料理人に学校の調理実習の外部講師をお願いする。子どもたちは目を輝かせて調理方法を学

議員

べると思う。

教育長 家庭科の先生や校長の了解さえあれば、教育課程の編成にとってよいアイデアと思う。

議員 古賀市で育つ子どもたちが、自炊力を身に付けることができれば今と未来を変えられる。私も手探りで自炊力を追求するが、行政としてぜひ力を入れてほしい。

市長 未来につながるという趣旨はその通りと思う。自炊力につながる取り組みを今後もやることも

に、今回の提起を踏まえ何ができるか考えていきたい。

プロの料理人を講師に自炊塾の実現を

小学校 学習指導要領
第8節 家庭 第5学年及び第6学年
衣食住の生活

伝統的な日常食である
米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること

大分県佐伯市
巣立つ君たちへの自炊塾

自炊できる力を付けることは、自立し、生活していく力をつけることに直結する食育そのもの

自炊力を身に付けるプロの料理人を講師に調理実習
古賀市でもぜひ実現を！

大分県佐伯市のホームページを基に作成



平木 尚子
(公明党)

産後ドゥーラを導入しては

答 有効性について情報収集を行っていく

議員 産前産後の母親や家族が求める

ニーズについて把握しているか。

市長 母子健康手帳交付時、妊娠8カ

月頃および生後2カ月頃にアン

ケートを実施し、ニーズを把握

し、サポートしている。

議員 産後ドゥーラの有効性につい

て、どのように考えるか。

市長 「産後ドゥーラ」は、出産後の

母親や家族をサポートする、民

間機関の認定を受けた専門家の

ことと認識。今後その有効性に

ついて情報収集を行っていく。

小・中学校にラーケーションの制度を

取り入れては

議員 平日に家族や保護者と一緒に校

外学習を行うことを目的とした

休みを取得できる制度、ラーケー

ションについてどう考えるか。

教育長 学びの多様化やリフレッ

シユ、家族のコミュニケーション

を深める場となったり、教室

での学びとは違うさまざまなス

キルを身に付けたりすることが

できる機会だと認識。さまざま

な探究的な学習を深めることに

期待。

議員 ラーケーションの導入の検討は。

教育長 学びの多様化やリフレッ

シユ、家族のコミュニケーション

を深めるための選択肢の一つ

として導入に向けて検討の余地

はある。

帯状疱疹ワクチンの公費助成について

市長 帯状疱疹が国の定期接種の対象

疾病となった場合、粕屋医師会

等関係機関と連携し、接種に係

る事務を進めていく。

不安定な産後の母親に寄り添うドゥーラ



村松 謙二
(切磋琢磨)

福岡都市圏の古賀市、今こそ人口増加へ

答 社会増で自然減を補い、人口規模を維持

議員 古賀市の人口は、令和3年度で

対前年度比、純減259人、4

年度は純減で313人、5年度

で純増74人になったが、マイナ

ス313人から74人に増えた要

因は。

総務部長 これまではコロナ禍であった

が転入者が増えてきた。これは

市として、さまざまな施策の結

果、増加に転じていると考える。

議員 令和5年度は74人の純増だが、

日本人は対前年度比で116人

の減少だ、一方、外国人は対前

年度比で190人と差し引きで

74人の純増だ。つまり令和3年

度から日本人の人口が減り続け

ていることがわかる。これが実

態だ。

人口を増やす取り組みは大きく

2つあり、今住んでいる住民の

転出を抑制すること、もうひと

つは、住民の転入を促進する必

要がある。では、古賀市に住み

たいという転入者のニーズはど

のように把握しているか。

経営戦略課長 直近のアンケートでは、

古賀市に住み続けたいと思われ

る市民の数は、近隣自治体より

若干低めとなっている。

議員 古賀市に転入して来る住民の地

域はどこが多いか。

経営戦略課長 圧倒的に福岡市である。

議員 関東のある地域では、国勢調査

のデータから分析し、自分たち

の市へ通う通勤者の地域を調べ、

その地域に

対して自分

たちのまち

の魅力、良

さを徹底的

にアピール

し、人や企

業に認知し

てもらおう戦

略で転入者

を増やした。

古賀市の人口内訳

	全体		日本人		外国人	
	古賀市	前年比	日本人数	前年比	外国人数	前年比
3年度	59,450	-259	58,635	-178	815	-81
4年度	59,137	-313	58,129	-506	1,008	193
5年度	59,211	74	58,013	-116	1,198	190

総務

委員会

7月16日

委員長 秋吉 智紀
 平木 尚子
 副委員長 松島 岩太
 大賀 文字
 紙谷 由香
 森本 義征

炭化水素冷媒ガス入替 実証実験委託について

問 実証実験としてどのような効果を見込んでいるのか。

答 電気料金が削減されることで1番大きい。あわせてゼロカーボンシティ宣言をしている古賀市として、温室効果ガスの削減も評価基準となる。

問 今後、導入するとなった場合、導入する業者は今回の実証実験を委託している業者と同じか。

答 その場合のデータの整合性はどのように考えるか。炭化水素冷媒ガスは、JR九州システムソリューションズ株式会社が販売の独占契約を結んでいる。新しい技術が出てくることも考慮しながら、検証していきたい。

管財課

古賀市のDXについて

問 DX推進に向けて力を入れている分野は。

答 まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、DXビジョンを作成する。DX推進アドバイザーのもと事務作業の見直し、効率化を行なっていく。

問 DX推進アドバイザーのミッションは何か。

答 年間1000時間業務時間を削減することを目標としている。

問 今取り掛かっている具体例は何か。

答 仮ナンバーの発行申請。以前は、申請用紙に記入いただき、それをエクセルに転記した上で、証明書を発行していた。そのため、1件あたり30分程度かかっていた。現在はオンライン申請に切り替え、事業者の待ち時間が大きく短縮された。

デジタル推進課

コミュニティ活動

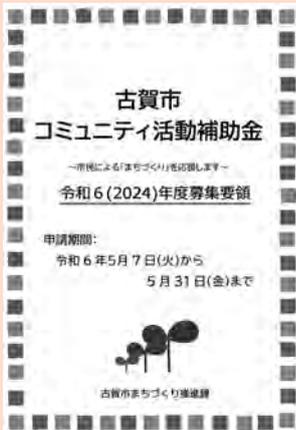
補助金について

問 予算はいくらで、何団体へ補助金をだすのか。

答 本年度は5団体から申請されている。市民へ公開プレゼンテーションをしてもらい、採択の可否を決めていく。

問 単独事業で上限24万円、共同事業で上限64万円。本年度の予算は200万円。採択の決め方に関して、どのように決めていくのか。

答 市民から選出された、評価委員の意見を市に提出してもらい、市が最終的に判断する。



まちづくり推進課

保育士の採用について

問 保育士を2人程度、採用をめざしていたが、応募者が1人だった。応募者を増やすためにどういった対策をしているか。

答 今回、保育士を募集するために、保育士の1日の活動ぶりをPRする動画を作成し、発信した。

問 どこで発信し、再生回数はどれくらいか。

答 公式ホームページの職員募集の中で周知し、リンクでYouTubeにいくようにしている。再生回数はそれなりに伸びている。



【密着】保育士さんの1日に完全密着してみました！古賀市立鹿部保...
 5697 回視聴・4か月前 (ここ古賀チャンネルより)

人事秘書課

7月22日
25日

委員長 森 真希
古賀 誠視
副委員長 大隈 慶太郎
今井 公一 奴間 健司
秋山 隆哉

人権センターの事業や隣保館事業の目的は

問 人権センターの事業や教育委員会の子どもに関する教育施策がある中で、隣保館事業の存在意義や目的は。

答 人権センターが総合的な人権施策を行う一方で、隣保館では、部落差別解消支援を主な目的として、人権同和問題の解決に向けた事業を実施している。また、スタンドアローン（二人で立つ）支援事業では、家庭学習支援だけでなく、人権の視点を持って生活や家庭環境の悩み事の解消につなげていくことも重要と考えており、学校や教育委員会、子ども家庭センター、福祉課などと連携している。

隣保館

各児童センターの不登校児の受け入れ・学童保育の体制

児童センター・学童保育についての活動報告がありました。

問 各児童センターの不登校児の受け入れ人数は。

答 千鳥児童センターでは小学生3人、中学生4人、しじふ児童センターでは不定期で小学生2人、中学生1人、青柳児童センターでは不登校児の受け入れはない。

問 夏休み期間中の学童保育の8時からの受け入れ体制について

答 既に4月から土曜日は8時からの受け入れを開始し、各学童保育所の指導員の数も確保し、問題なく運営できている。

青少年育成課

通学時の

暑さ対策について

問 暑い中、下校する子どもたちのために、青柳区と町川原1区の公民館を休憩場所や給水ポイントとして開放しているが、他の地域でも同様の動きはあるのか。

答 子どもたちの水筒に、水道水を補充して帰宅するよう各学校に呼びかけている。また、千鳥児童センターでも帰宅途中の子どもたちの水筒に水を注ぐなどの取り組みも把握している。今後は、地域学校協働活動推進委員とも連携していきたい。



給水ポイントの青柳区公民館

学校教育課

子ども食堂に対する

補助金

子ども食堂に対する補助金について報告がありました。

問 子ども食堂に対する補助金の申請状況と、当事者の声に応じて柔軟に対応できるのか。

答 予算計上時点で、市内で活動する2団体に申請手続きの案内をしている。その後、新たに申請する団体は現れていない。また、補助金は開催にかかる実費部分の支援を想定しているが、初年度で支払い実績がないため、今後改善が必要な点があれば適切に対応していく。



子ども家庭センター

市民建産

委員会

7月17日
23日
30日

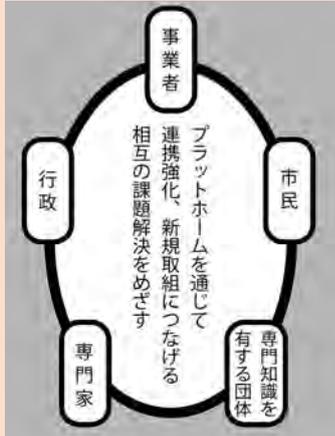
委員長 結城 弘明
中野 敦史
副委員長 村松 謙二
井之上 豊 福崎 トビオ
伊藤 康義

温暖化に対する取り組み

温室効果ガス排出量可視化システム導入費補助事業、古賀市脱炭素経営支援プラットフォーム等の報告がありました。

問 脱炭素経営支援プラットフォームの支援体制と周知方法は。

答 関係部署を確認し、協体制を取っていききたい。周知についてはモデル事業に採択されたことにより、専門家から事業者に参画してもらえ周知方法についての意見をいただいている。



環境課

高齢者の安心につなげるために

後期高齢者医療制度における高額療養費の支給漏れについての報告がありました。

問 支給漏れはどうやって発覚したのか。原因は何と考えているか。

答 業務見直しの中で発覚した。現在確認段階であるが、引き継ぎをしてなかったことが原因であると判明している。

問 二度と同じことが起きないように、再発防止のためにもマニュアルを見直すべきでは。

答 現在はマニュアルを作り直しているところであり、福岡県の後期高齢者医療広域連合にも全体的なマニュアルの作成をお願いしている。

市民国保課

優しさを育てる市へ

人権教育、関係団体活動推進事業等の報告がありました。

問 人権の花運動の目的と、実施校が5校に絞られている理由は。

答 子どもたちが花を大切に育てることをめざしている。5校に絞られている理由は、予算の関係、人権擁護委員の手配が難しいため。

人権センター

安心と安全の水

令和5年度水道事業会計決算、令和6年度上下水道事業経営等審議会等の報告がありました。

問 古賀市の地下水、水道水への有機フッ素化合物混入調査や公表方法は。

答 水質検査は7月に実施。検査は大根川、古賀ダム、浄水後の水。結果はホームページで公表。

上下水道課

JR古賀駅東口のスケジュール

JR古賀駅周辺官民連携ウォークアブル社会実験、JR古賀駅東口周辺整備における公共施設部分の概算事業費および契約状況等についての説明がありました。

問 概算用地補償費となる約45億円はいつ算出したのか。地価高騰など、この概算は成り立つのか。

答 昨年度の単価をベースに見直しを行い、十分と考えている。

問 工事着手までのスケジュールは。

答 令和8年度に事業化に取り組み、その後詳細設計、用地買収。調整が終わり次第着手したい。



古賀駅周辺開発推進課

子ども議場体験会

市内小学生が集まりました



古賀市子ども議場体験会があり、古賀市内の小学4年生から6年生までの7人が参加しました。議会についてのお話を聞き、議場の見学へ。

第3回定例会の傍聴者は43人でした。ありがとうございます。
第4回定例会は11月25日（月曜日）開会予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



議場では3つの議題があり
1. 小学校への制服の導入は。
2. 紙の教科書をやめてデジタル教科書を導入しては。
3. 夏休みや冬休みの宿題を減らしては。
でした。
皆、手を挙げ「賛成」「反対」の意見や自分の考え、こうしたい！という思いをしっかりと討論していました。
私たちが子どもたちの思いや声を聴くことができました。

最初は、恥ずかしいので見学だけと言っていた子が

「私も言いたい！」という事で議場から参加し、しっかりと意見を言ってくれました。



最後に子ども達からの感想で「議場は広くて楽しかった。」
「思ったより緊張した。」
「たくさん発言ができて自信も増えた。」
「色々な部屋があった。」
「また来年もやりたい！」
などとても嬉しい言葉をいただきました。

「私も言いたい！」という事で議場から参加し、しっかりと意見を言ってくれました。

暑い中ありがとうございます！

092-942-1172

連絡先 青少年育成課

令和6年 古賀市議会 第4回定例会会期日程（案）

会期 11月25日～12月11日 17日開

日	曜	会 議 名
11/25	月	本会議（初日）
28	木	本会議（2日目）
29	金	常任委員会
12/2	月	常任委員会
3	火	常任委員会
4	水	補正予算審査 特別委員会
5	木	一般質問
6	金	一般質問
9	月	一般質問
11	水	本会議（最終日）

開議時刻は全て9時30分～

注）会期日程は、11月20日（水）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議国会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
（本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です。）
◎請願書の締切りは11月18日（月）午後5時です。

古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

音声読み上げ版

※QRコードは株安ソウウェブの登録商標です。

バックナンバーの
音声読み上げ版
もあります。



編集後記

災害時用のドローンを、特色ある市内行事撮影に活用した記念すべき1枚。

いつも見ていた市議会だより。読むだけでは違い、誌面を作り上げることの難しさに直面いたしました。

しかし、経験を重ねていくうちに、自身のスキルアップにつながり、これからの活動に必ず役立つものであると、確信できるようになりました。

毎号、本質を損わない誌面作りに、議会報委員全員で取り組んでおります。

「手に取りやすい・読みやすい」市議会だより作りを心掛け、次号からも取り組んで参ります。
（秋山）

議会報編集常任委員会
委員長 福岡トビオ
副委員長 秋吉智紀
委員 平木尚子
紙谷由香
森真希
秋山隆哉

